

御小っ子通信

令和7年度 御館山小学校だより

令和7年11月26日(水)第18号

文責：校長 山口敬博
副校長 安樂智史

□令和7年度スローガン
笑顔あふれる
「み」みつけよう夢を
「た」高めよう志へ／助け合おう友と
「ち」知恵と
「や」やる気と
「ま」真心で

【ひとり言】

修学旅行終了直後、
今回お世話を頂いた県営バス観光の担当の方から私あてに、
次のようなメールが届きました。

↓↓↓↓

『御館山小学校校長先生へ』
阿蘇人さんから
(県営バス観光宛に)
嬉しいメールが届きましたので
転送します。
ちなみに阿蘇人さんとは
長いこと仕事をしていますが、
こんなメールをもらったのは
初めてです。
阿蘇人さんも
それほど喜ばれたのでしょうか。

(以下が阿蘇人さんから
県営バス観光へのメールです)

【県営バス観光●●さんへ】

御館山小学校は最高でした。
元気よくて、
仲良しで、
思いやりのある
子どもたちです。
どのグループのガイドも
子どもたちを
ほめていました。
来年も是非
来ていただきたいです。

いかがでしょうか？
御小関係者でない方同士の
やり取りですので
リップサービスではなく
本当のお気持ちでしようから
余計に嬉しく感じますね。
子どもたちの素晴らしい姿が、
お世話してくださった方々にも
伝わったこと…、
本当に嬉しいですね。

6年生特集！大ジャンプに向けてのホップ！ステップ！

先週木、金の2日間に分けて開催いたしました御館山小文化祭には、本当に多くの皆様にご来場いただき有り難うございました。どの学年とも、子どもたちの生き生きとした姿をご覧いただけたのではないかと嬉しく思っています。その文化祭については、後日改めてお伝えするとして、

6年生の頑張り

その前に本号では、この2学期の6年生の頑張りをお伝えします。

まずは、10月2日(木)・3日(金)に「修学旅行」が、およそ3週間後の10月28日(火)には「小体連」が、そして、11月7日(金)には「選挙出前講座」が行われました。1泊2日で、熊本・福岡・佐賀方面を巡った、この修学旅行は、非常に学びの多い充実した2日間となりました。

初日は、修学旅行の目玉である『阿蘇人(あそんもん)ツーリズム』。

これは、地元の方々と交流しながら体験活動を行うという内容です。

普通の修学旅行(みんなが一緒に行動し、説明を受けながら巡る形)では味わえない温かな触れ合いがあり、

また、その出会いから、生き方にも影響を与えるたくさんのヒントももらえたようで、子どもたちにとても思い出深く、大変意義のある体験となつたようです。

2日目は、旧陸軍大刀洗飛行場があった「大刀洗平和記念館」での平和学習…、

そして最後の見学地は、佐賀県の「吉野ヶ里遺跡」でした。

特に、大刀洗での平和学習への真剣な表情が印象的でした。

子どもたちは、非常に自主的かつ礼儀正しい態度で2日間を過ごしました。

※その頑張りの証明とも言える嬉しいメールは、【左欄「ひとり言】をご覧ください。

修学旅行が終わると、ゆっくり振り返りをする間もなく、

子どもたちは、「小体連」の練習に入りました。

小体連と言えば、昨年度の6年生が競技への真剣な取組だけでなく、

応援席での素晴らしい態度と、統率の取れた全力応援で、

諫早市内の小学校の良き模範となつたことを思い出します。

その良き伝統を引継ぎ、「御館山っ子ここにあり！」を示す練習にも力が入った6年生…。

果たしてその結果は…、立派にその伝統を引継ぎ、

競技はもちろんのこと、更に工夫が凝らされた応援で、実に素晴らしい姿を見せました。

私が特に感心したのは、出場児童一人一人の名前をコールし、

一人一人を大切にした応援を行つたことです。

また、競技が終わつたあとに応援席に戻つた仲間を「よくやつたコール」で出迎えた子どもたち…。

互いに励まし合い、讃え合う姿に、御館山の素晴らしい伝統の一端を感じ嬉しくなりました。

更に、学校に戻つての表彰式では、

6年生から「頑張られたのは5年生をはじめとした全校の皆さんのおかげ」として、

代表の5年生に、応援で使用したプラカードなどの応援グッズを引き継ぎました。

来年は5年生が、この素晴らしい応援を引き継いでくれるものと期待が膨らみます。

続いて11月に行われた「選挙出前講座」でも、6年生は素晴らしい姿を見せました。

この「選挙出前講座」は、諫早市選挙管理委員会が市内各小学校で実施している取組です。

その講座の中で、子どもたちは「模擬選挙」を体験しました。

各クラスから1名ずつの計4名が諫早市長候補に立候補し、

有権者(6年生全体)に対して演説を行います。

その後、演説を聞いた6年生全員が、本物の機材を使って投票し、

4人の候補者の中から諫早市長を選ぶ…、というものです。

ここで、まず、素晴らしいのが、立候補した、

吉田光志さん、早田雅紀さん、

原野駿亮さん、松本蒼甫さん、の4人です。

4人の立候補者たちは、「体育館へのエアコン設置」や

「大型商業施設への映画館誘致」など、

実際に話題となっているタイムリーな案件や、

「挨拶で繋がる安全な街作り」

「ポイントを活用した地産地消の活性化」などの

諫早市の「安全」や「活性化」に繋がる公約を堂々と述べ、

自身への投票を訴えました。

また、投票者側の子どもたちも、真剣に耳を傾け、

純粋に候補者の公約を吟味して投票していました。

この日、取材をされた長崎新聞社の記者の方も、

「自分たちの生活に密着した演説で本当にレベルが高く、

また、スピーチを聴く態度や投票態度も素晴らしい、

本当にビックリしました。」と、感心されていました。

このように、卒業式でのゴール(ジャンプ)に向けて、
学年として確実に「ホップ」→「ステップ」
の段階を踏んでいる6年生です。



11月13日(木)長崎新聞掲載記事より